

ふくサポだより

福島県ため池サポートセンター vol.13_R6.12.12

「ため池を守ろう！」サイフォンを活用した簡易放流装置の活用について

ため池サポートセンターでは、今年度の取り組み内容として、県内のため池整備に携わる県・関係市町村・土地改良区担当者の方々に対し、「サイフォンを活用した簡易放流装置の実演研修会」を実施し、ため池を決壊から守る活動を行っております。



ため池を決壊から守るためには、使用していないため池や決壊のリスクがあるため池において、落水しておくこと、地震時に安全な水位まで低下させることが重要です。しかし、古いため池では管理が十分に行き届いておらず、取水栓の位置が不明であることや、緊急放流施設が無いことも多く、落水が困難となっているケースがあります。そのような場合、サイフォンの原理を利用した簡易放流装置が活用可能です。



簡易放流装置は流入口（フローバルブ）、注水口（Ｔ字管）、放流口（ボールバルブ）、サクシヨンホースで構成されています。ホース内を水で満たしてから放流口、流入口の順に栓を開けることで、サイフォンの原理により、ため池内の水が堤体を超えて流下し始めます。

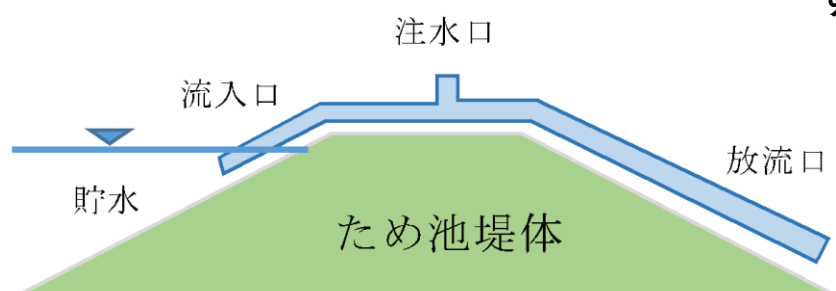


図-1 サイフォン式簡易放流装置イメージ図

この装置の利点は、ポンプを使用しないことから、動力源となる発電機を現場に搬入する必要がないこと、人力で手軽に持ち運ぶことができることです。ため池へのアクセスは悪路となっており、この装置であれば、この装置であればホースを丸めて乗用車へ積み込み、現場に搬入することが可能です。また、管径75ミリのホースは1本9・6 kg、放流口（ボールバルブ）が付いて一番重いホースでも13 kgと軽く、丸めて肩にかけると一人で持ち運びが可能となっております。



放流作業のポイント

- (1) ホースの設置と接続
最小の本数で接続する
- (2) 流入口と放水口を設置する
栓が開かないよう注意
- (3) 管内を満水にする
空気が完全に抜けるよう
- (4) 通水させる
放水口を先に開ける

次に流入口の栓を開ける

☎ 0 2 4 - 5 3 5 - 0 3 8 3

ため池管理者の方の相談窓口

受付日時

平日 9:00～16:00

※ 祝日、休日、年末年始を除く

農業用ため池管理者からの、ため池に関するご相談やお悩み等をお受けし、福島県の各農林事務所又は各市町村の担当部署へ対応の調整を致します。

福島県ため池サポートセンター

所在地 福島県福島市南中央三丁目36番地（福島県土地改良会館内）

TEL 024-535-0383

FAX 024-535-0358

E-mail: tameike-support@midorinet-fukushima.jp

ホームページ: <https://www.midorinet-fukushima.jp/>

